

~ 13
3750
18

門 13
號 3750
卷 18

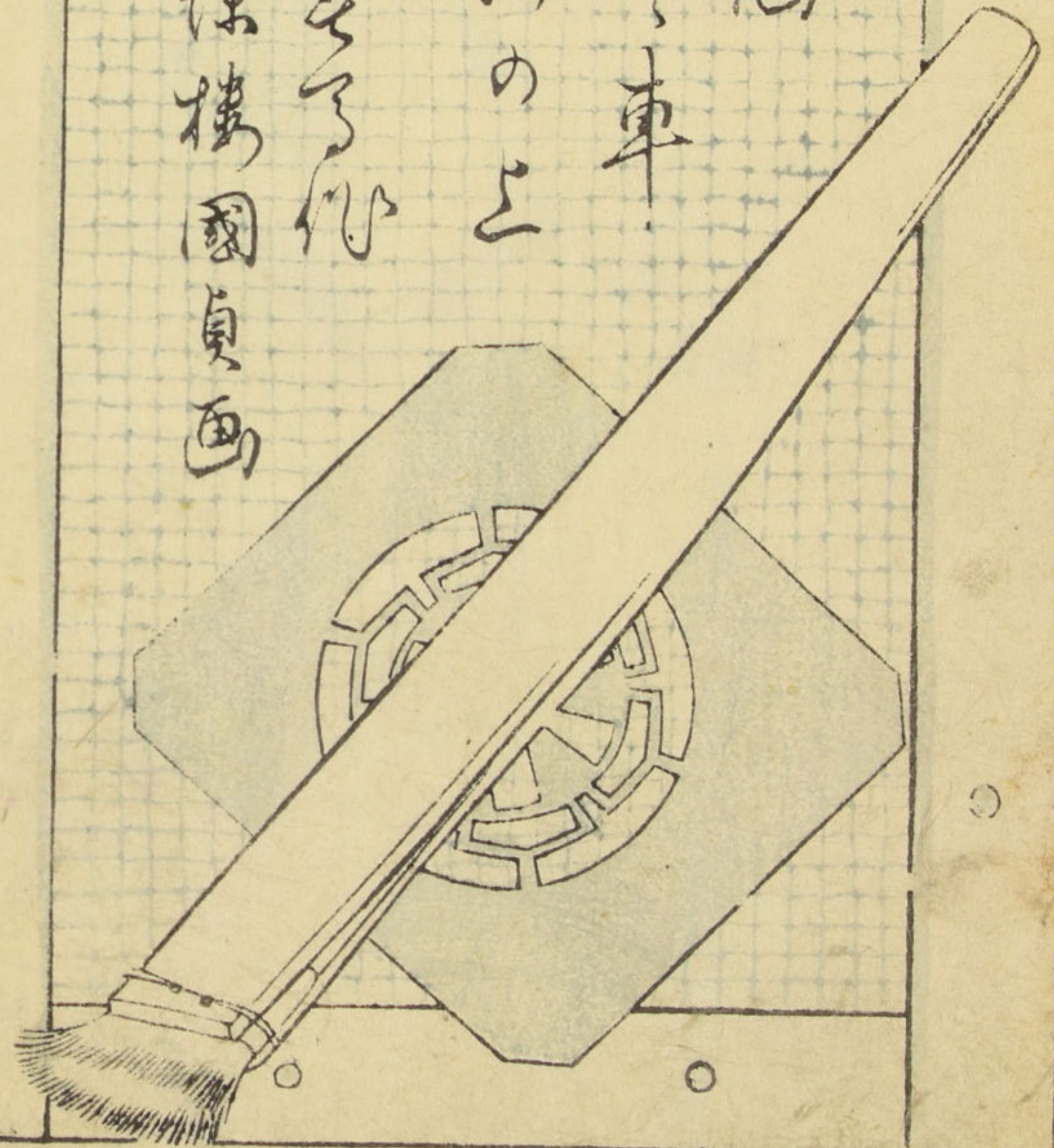
童福

妙車

十海の上

こころをまろく

杉葉樓國貞画



一



糸衣を此珠玉と轉す妙者あるも附子の音種小依の
とらきひが先哲の作意と附く小准へ押す此御色を
茶一得せんと思ふ此卓小板益くけ下等とすりあや
茶の歌指ふ本あしき業處ども妙業もいそぬ
終る人な冠式間ひこころの師を去るはの
魚松氏小事な活業あき秋小
とねまうし在下の境界を子僧
尼僧を楽あめん

心平人妻の歌

鶴田玄湖書

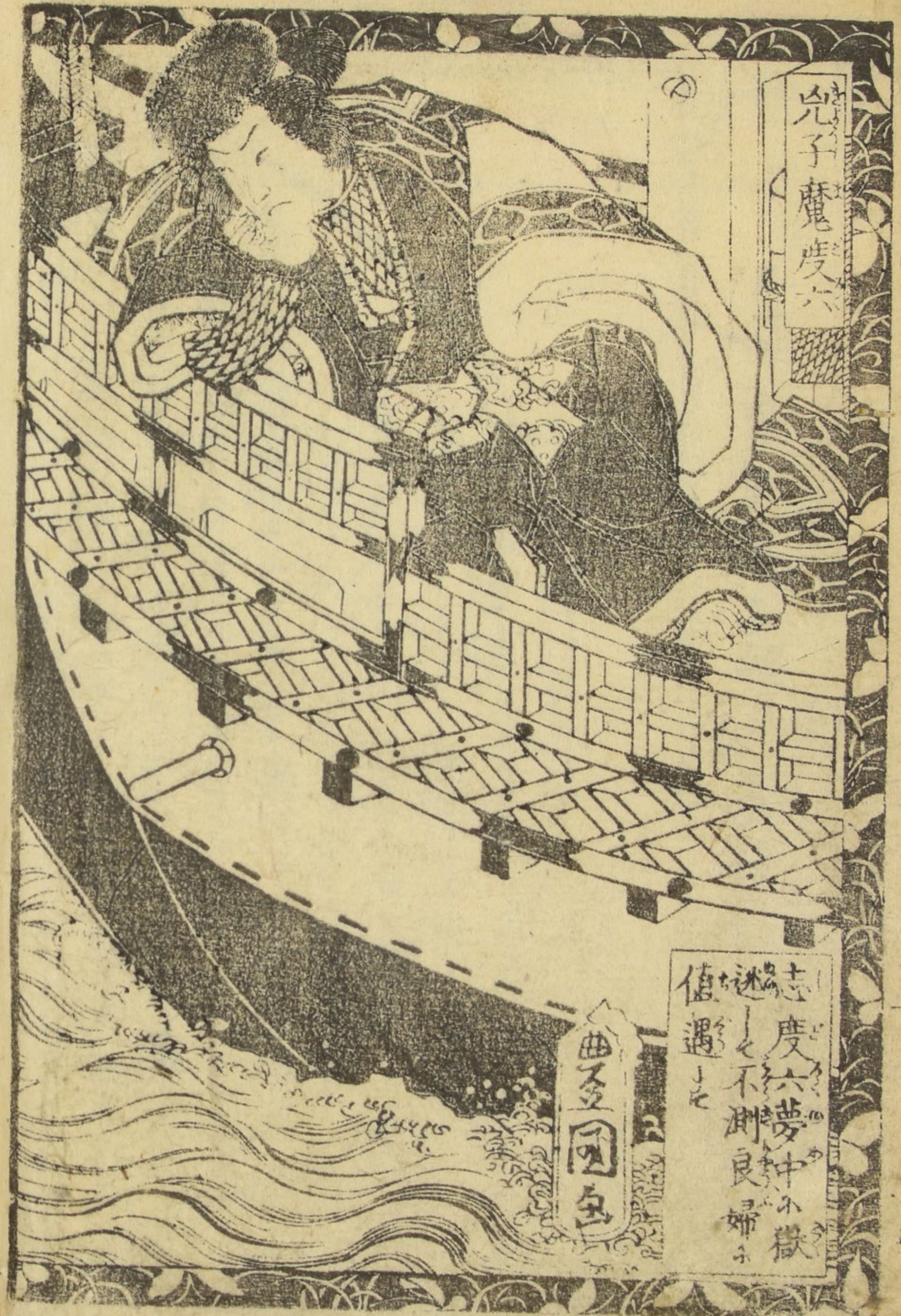




母の心
浦の心
心
心

室の津の
遊君玉苗

孝子志度六



兎子魔度六

志度六夢中
迷く不測良婦
値遇

曲不因虫

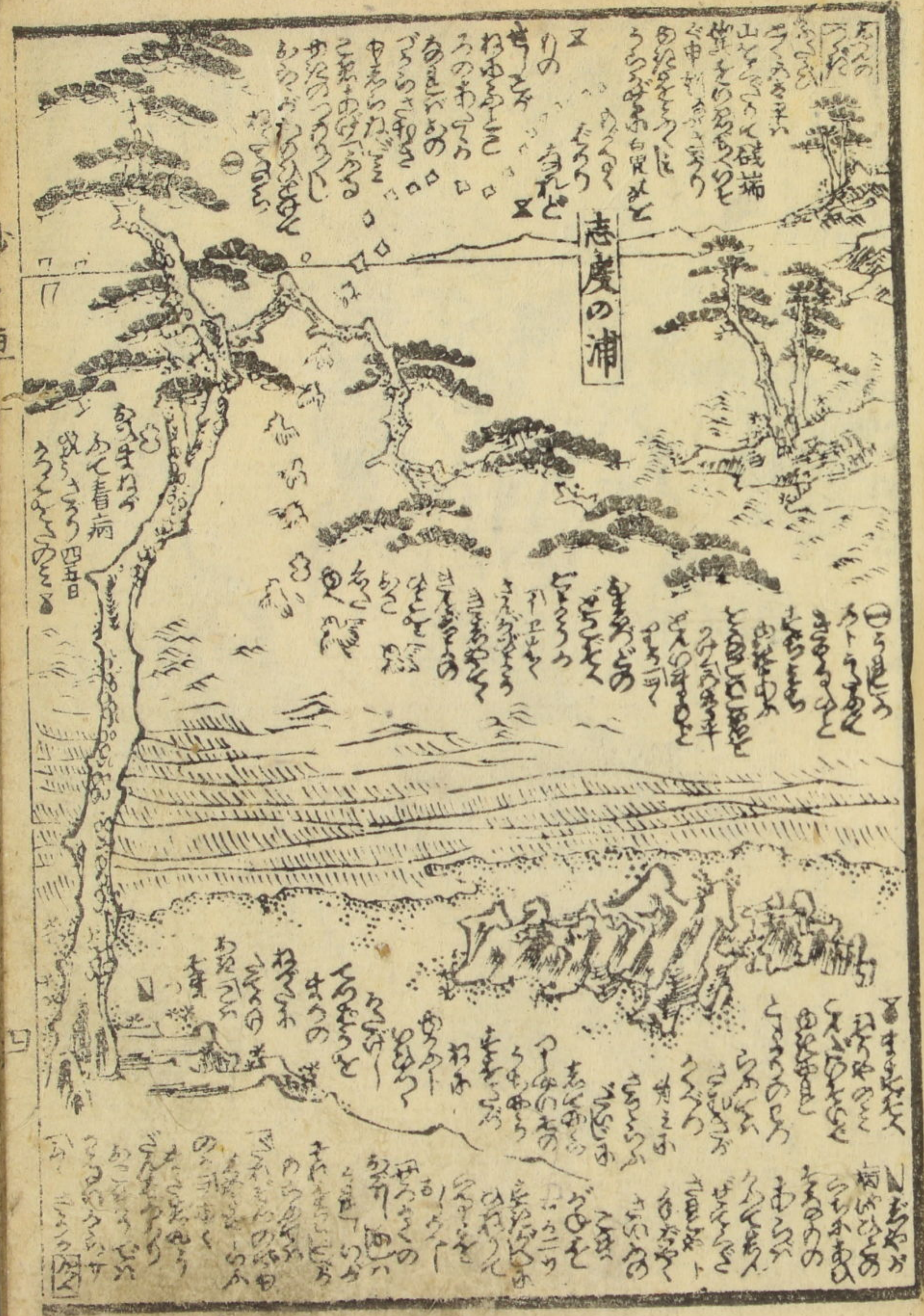


山獵師五太六

此五太六



如
四十二郎
怨
鬼



志度の浦

あまなほ
ふて春病
いづれも四五日

二代目 一立齋 文車
七夕やませし
書侍の
ちり

月岡の女小雲

出豆園



